

教職に関する専門教育科目採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1 (A) 法の下に平等 (B) 伝統と文化 (C) 使命 (D) 義務を負う		各3×4	21
	2 基本理念にのっとり、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの防止及び早期発見に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有すること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	9	
2	変化の激しい社会の中で、主体的に学んで必要な情報を判断し、よりよい人生や社会の在り方を考え、多様な人々と協働しながら問題を発見し解決していくために必要な力を、児童生徒一人一人に育んでいくためには、あらゆる教科等に共通した学習の基盤となる資質・能力や、教科等の学習を通じて身に付けた力を統合的に活用して現代的な諸課題に対応していくための資質・能力を、教育課程全体を見渡して育んでいくことが重要となるから。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12	
3	各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
4	他者と協働して課題を解決しようとする学習活動を行うこと。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×3	15
	言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動を行うこと。			
	学習活動においては、「考えるための技法」が活用されるようにすること。			
5	(小学校・特別支援学校小学部) 道徳教育で養う道徳性は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となるものであり、日常生活においても、人から言われるからといった理由や周りのみんながしているからといった理由ではなく、物事を多面的、多角的に考え、自らの判断により、適切な行為を選択し、実践できるようにすること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12	
	(中学校・特別支援学校中学部) 道徳教育で養う道徳性は、人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となるものであり、日常生活の様々な場面で意図的、計画的に学習の機会を設け、生徒が多様な意見に学び合いながら、物事を多面的・多角的に考え、自らの判断により、適切な行為を選択し、実践できるようにすること。			
	(高等学校・特別支援学校高等部) 道徳教育で養う道徳性は、人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となるものであり、日常生活の様々な場面で意図的、計画的に学習の機会を設け、生徒が多様な意見に学び合いながら、物事を多面的・多角的に考え、自らの判断により、適切な行為を選択し、実践できるようにすること。			
6	1 (a) エ (b) イ		各3×2	14
	2 (小学校・中学校・高等学校) 児童(生徒)が障害のある幼児児童生徒とその教育に対する正しい理解と認識を深めるための絶好の機会であり、同じ社会に生きる人間として、お互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶ場としての意義がある。 (特別支援学校小学部・特別支援学校中学部・特別支援学校高等部) 児童(生徒)が障害のない幼児児童生徒と理解し合うための絶好の機会であり、同じ社会に生きる人間として、お互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶ場としての意義がある。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	

教職に関する専門教育科目採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点
7	<p>評価においては、各教科等の目標の実現に向けた学習の状況を把握するために、指導内容や児童生徒の特性に応じて、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫し、学習の過程の適切な場面で評価を行う必要がある。その際には、学習の成果だけでなく、学習の過程を一層重視することが大切である。特に、他者との比較ではなく児童生徒一人一人のもつよい点や可能性などの多様な側面、進歩の様子などを把握し、学年や学期にわたって児童生徒がどれだけ成長したかという視点を大切にすることも重要である。</p> <p>また、教師による評価とともに、児童生徒による学習活動としての相互評価や自己評価などを工夫することも大切である。相互評価や自己評価は、児童生徒自身の学習意欲の向上にもつながることから重視する必要がある。</p>	<p>内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p> <p>以下の3つの視点について書いていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫すること。</li> <li>・他者との比較ではなく児童生徒一人一人のもつよい点や可能性などの多様な側面、進歩の様子を把握すること。</li> <li>・児童生徒による学習活動としての相互評価や自己評価などを工夫すること。</li> </ul>	18